

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2017 年 10 月号（第 109 号）

発行責任者 稲村 洋二



ところざわ倶楽部 10 周年記念事業「ハーメルンの笛吹きおとこ」公演 写真提供 柳瀬写真クラブ

第 11 期定期総会及び懇親会のお知らせ

会長 稲村 洋二

11 月 21 日（火）市民文化センターミューズで第 11 期ところざわ倶楽部の総会を開催いたします。

多くの会員の皆さんのご参加をお願いします。

本年度は倶楽部創立 10 周年に当たり、昨年計画立案した 3 つの 10 周年記念事業を実行しました。5 月の「生涯学習シンポジウム」、9 月の「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演、今回の総会時に配布します「ところざわ倶楽部の 10 周年記念誌」の作成です。これらの 10 周年記念事業の報告と新入会員歓迎の「新春の集い」、連続 4 回の文芸講座「夏目漱石」、第 2 回「サークル発表会」、新入会員募集の結果などについての報告もいたします。

来年度については、理事会の新体制、事業計画、来年度予算について説明し、承認を得たいと思います。

総会終了後、昨年と同様懇親会を開催します。同期別に席を設けますので同期との懇親を深める機会として下さい。よろしくお願いいたします。

総会：平成 29 年 11 月 21 日（火）

13 時 ～ 16 時（総会・懇親会）

会場：所沢市民文化センター・ミューズ管理棟 5 階

「ハーメルンの笛吹きおとこ」公演を終えて

ハーメルン実行委員会 玉上佳彦

1年以上前から10周年記念事業の目玉として、企画し、手探りで準備を進めてきました本公演が、おかげさまで大好評の裡に幕を閉じることができました。これは、ひとえにところざわ倶楽部の皆様のご協力の賜物と感謝しております。ありがとうございました。

当初は、本当にできるのだろうかとの心配がありました。理事会や実行委員会での侃々諤々の議論がありましたが、15名の実行委員の努力により、なんとかやり遂げることができましたことは、ところざわ倶楽部のメンバー一人一人の優れたスキルに負うものが多かったと思います。

このような企画が、ほとんど経験のない素人集団でもできたということは、ところざわ倶楽部は結構優れた団体であるということの証明であり、大いに自信の持てることだと考えています。ちょっとくさい表現かもしれませんが、熱意があれば、なんとかできるのだということがわかっただけでも大収穫だと思います。但し、再び同じようなことを企画しようという声は、今のところ実行委員会内では聞こ

えてきません。もう沢山という心境です。それよりも「ハーメルンロス症候群」に陥らないように注意したいと思います。

笠松先生は、これまでの子ども達の熱心さや実行委員の準備などに感動して、4回にわたるオリエンテーションやリハーサルで、たいへん熱の入った指導をしていただきました。

最後になりましたがそれもこれもはじめに笠松先生の「ハーメルンの笛吹きおとこ」があったからです。ありがとうございました。



ハーメルン実行委員会

公演を終えて：バックステージ始末記

ドラマティック・カンパニー 柳澤千賀子

ところざわ倶楽部10周年記念の行事の一環として、笠松先生の「ハーメルンの笛吹きおとこ」をミュージックで公演するという報を聞いた時、素直に喜びました。前の年、北本市で上演されたのをドラカンのメンバーは見ており、地元参加型の素晴らしい公演だったので「所沢でもやれたらいいね」と話していたのです。それがまさか実現するなんて...

私達ドラカンの仕事は子ども達への対応がメインとなりました。小1～小6年生45名！しかも子ども達の動きが公演成功の鍵？私達は少しでも笠松先生のお役に立てればと、全面的に協力体制を敷きました。でも悲しいかな、素人集団の私達はリハーサルの度に会場が変わった為、本番当日のマーキーホールではオタオタとし、午前中のリハーサルで突然衣

装をつけることになってその対応に追われ、ステージ上の器材には手を触れないよう子ども達に注意し、体調の悪い子に目を配り、あげくキュー出しのタイミングを間違っ先生に叱られ、ハ～、舞台は観客席で見るものだ。



でも何とか無事に終わり、お客様の評判も上々だったようでホッとしました。子ども達も

全員本番に参加でき、無事保護者にお返しできました。スタッフの皆様、お疲れ様でした。



写真提供 清水仁一氏

「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演を終えて―出演児童の感想文**ハーメルンの笛吹きおとこに参加して****石島 さら(小学2年生)**

初めて、練習会場の公民館に行ったとき、監督の先生に「ねずみになってみて」と、突然言われました。私は、恥ずかしくてねずみっぽくできなくて、ど

うしていいかわかりませんでした。でも、2回目の練習のときは1回目よりねずみを意識して、行動しました。多分、最初よりもねずみらしかったと思いますが、本当のねずみらしくはなかったと思いました。その時、もっと頑張ろうと思いました。

本番直前のとき、すごくドキドキして心臓が飛び出しそうでした。本番が終わって、1回目よりねずみっぽくできたか気になりました。でも、違う場面で後の予定の動きをしてしまい、大失敗をしました。残念でした。

朗読劇が終わったときに、家族から花束をもらって、「とても上手だったね」と言われました。うれしかったです。

その夜の夢は、ハーメルンの終わりのとき、いっぱいの人が「ブラボー」といってくれる夢をみました。とても、素敵でした。次の日の朝は、いい気持ちで起きられました。ありがとうございました。

思い出の劇**田口 宙(小学4年生)**

ぼくがこの劇に参加したきっかけは、おばあちゃんからの紹介だった。でも正直言うと最初は、劇の練習に出たくなかった。なぜか

と言うと、幼稚園時代の「したきりすずめ」の劇でのいやな思い出があったからだ。風邪で休んでいた分の「おじいさん」のセリフが一気にまわってきて猛特訓のまいにちだった。

この劇の練習は、ちょっとちがった。うらんさんの「今日は、何曜日?」「土曜日、土曜日、土曜日。」の尻もじもおもしろかった。うらんさんの楽しい指導で劇は、いつの間にか完成した。

2回目の練習の時、目を疑った。幼稚園時代の友達、たいきくんがいたからだ。4年ぶりだったので最初は確信が持てなかった。たいきくんは、「したきりすずめ」のおばあさん役だった。富士幼稚園時代の思い出話に花が咲いた。

劇の終了後、鶴見さんにサインをもらおうと思いついた。でもペンがなかった。たいきくんがペンを持ってとんでもどってきたときは、よっしゃーと思った。ぼくたちが、サインをもらおうと、サインをもらう女の子たちや写真をとる大人たちが続々と集まってきた。

青いねずみの手袋に書いてもらった小さなサインは、一生の思い出だ。

ねずみと子どもたちを演じて**緑川 彩姫(小学6年生)**

ところざわ倶楽部10周年記念事業として、音楽朗読劇を企画し実行して下さり、所沢市民の子ども達に出演の場をあたえてくれて本当に貴重な体験を

することができました。

この舞台で、みんな好きな、ねずみや子ども達を自由気ままに自分らしく演じられたことが楽しかったです。しかし人によっては、もっと笑顔でできれば良かったなとか、ここ失敗しちゃったなどの色々な思いがあったと思いますが、今後の生活や色々なことで、この経験を生かしていきたいと思います。

笠松先生や広崎先生、多くのスタッフの方々、本当にありがとうございました。素敵な思い出になりました。

狭山丘陵を次世代に引き継ぐ

公益財団法人トトロのふるさと基金 理事長 安藤聡彦



ところざわ倶楽部の設立 10 周年を心からお慶び申し上げます。地域を学び、地域でつながり、地域に生きる皆さまの倶楽部の存在は、所沢市という地方自治体の成熟度を示すかけがえのない指標なのではないだろうかとは考えております。

これから倶楽部がますます発展されますことを心からお祈り申し上げます。

私たち公益財団法人トトロのふるさと基金は、母体の設立以来今年で 27 年目を迎えました。今日までに狭山丘陵内で取得した森の数は 41、総面積にして約 7.5ha になります。27 年間に国内外から頂戴したトラストのための寄付金は 9.3 億円。そのうち 5.2 億円を用いて上記の森を取得してきました。長年社会の第一線で働いてこられた皆さまにしてみると、9.3 億円というのは小さな数字に見えてしまうでしょうか。けれども、私たちのような小さな自然保護団体がこれだけのご寄付を頂戴できたことは文字通りの僥倖です。近年は、狭山丘陵を取り巻く 5 市 1 町（所沢市、入間市、東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町）の地権者の方々から「土地を買ってほしいのだけれど」というご相談をいただくことが多くなりました。私は 2007 年から本基金の責任者をさせていただいておりますが、その頃にはこのような動きは考えられないことでした。同時に遺産相続などの大口寄付を頂戴する機会も出て参りました。どちらも「狭山丘陵及びその周辺地域の良好な自然環境並びに人と自然との調和のとれた関わり方を示す歴史的景観である里山や文化財を、ナショナル・トラストの手法を用いて恒久的に保存する」（定款）という私たちの意思と成果とを多くの方に信頼いただいている証として、たいへん重く受け止めている次第です。

時代は変わっていきます。私たちもその流れを見据えつつ、新たな課題に取り組んでいかなければなりません。

現在私たちは、これからの本基金のビジョンを示す長期構想の策定に取り組んでおります。今月開催した会合では、狭山丘陵保全論の原点と称すべき『雑木林博物館構想；狭山丘陵を市民の森に』（1986 年）を

みなで学習し、議論しました。この「構想」は「狭山丘陵の自然と文化財を守る連絡会議」と「狭山丘陵を市民の森にする会」によって作成され、関連する自治体に提出されるとともに、「いまの時代にマッチした保全策」として丘陵周辺の各地で説明会が行われました。

『雑木林博物館構想：狭山丘陵を市民の森に』

狭山丘陵は、いまをさかのぼる 1 万年以上も前の先土器時代から、人々の生活の舞台になってきた。（中略）この地で生活を営んできた人々は、当然に丘陵の自然と深いかかわりをもってきた。それはここの自然にはっきりと刻印されている。私たちが目のあたりにしている雑木林の優占する景観はまさしく、人々と自然との協同作品なのである。このようにみてる時、狭山丘陵は、この地で成立し、発展してきた地方文化のかけがえのない宝の蔵ということになる。したがって、いまここで、これを開発によって喪失するようなことになれば、私たちの損失ははかり知れないものとなることはいうまでもない。（はじめにから抜粋）

このようなマクロな地域環境史認識に立つ「構想」は狭山丘陵地域の特性を丁寧記述したうえで、狭山丘陵を「原則として立入り禁止」とする「保護区域」と雑木林の管理や広場・休憩地等からなる「保全区域」とに線引きしたうえで、その全体を「雑木林博物館」として保全していくという大きなビジョンを打ち出しました。「さいたま緑の森博物館」の開設（1995 年）や東京都側での「野山北・六道山公園」等の公園のオープン、そして本基金のトラスト活動などによってこの構想は一定程度実現してきましたが、まだまだ課題は山積しています。例えば、森の保全は様々なアプローチによって前進してきましたが、保全が進めば進むほど管理の必要性が高まります。世代を超えてその管理を安定的に実施していくためには何が必要なのでしょうか。難題ばかりですが、私たちは長期構想について検討するなかで、こうした問題について多角的に議論し、できるだけ確実なビジョンをつくっていきたいと考えています。

本基金は、ところざわ倶楽部の皆さまにこれまでも大変お世話になってきました。これからも様々な場面で手を携えながら私たちが暮らすこの地域をよりいっそう豊かな場所としていきたいと願っております。ひきつづきなにとぞよろしくお願い申し上げます。

市民大学 24 期生に対する O B 3 団体説明会の開催

企画委員長 西郡 貢

平成 29 年 9 月 5 日（火）午後 3 時半より、生涯学習推進センターにおいて、所沢市民大学 24 期生向けに、3 つの O B 団体が加入を勧めるための、合同説明会が開催された。

従来の説明会は 7 月中旬頃に実施されていたが、各 O B 会に対し、入会手続きを行う時（10 月 24 日閉講式後）まで、間が空きすぎるとの意見があり、今年度は 9 月上旬に開催した。発表は「さんさん会」「所沢市民大学 O B 会」「ところざわ倶楽部」の順に持ち時間 30 分で実施された。

さんさん会（会長加曾利厚雄氏）と所沢市民大学 O B 会（会長七井孝夫氏）は会長自らが、組織の生い立ちや運営特にクラブ全体での講演会やレクレーションなどの活動が中心の内容の発表でした。



ところざわ倶楽部の紹介は、稲村会長がクラブの創設からの歴史や運営等全般的な部分を行い、その後サークル活動の紹介をサークルの各担当が行った。

最初に民話の会が薄井文子氏（16 期）と柳澤絹子

氏（23 期）の二人が、ひばり児童館・所沢小学校・特養ホーム（真和の森）等での活動を紹介した後、その活動先で行っている民話の読み聞かせのさわりを実演した。二番手として、北欧の会の森野辰夫氏がサークルの目的や実績を紹介した。三番手として、懐かしの映画・鑑賞会とドラマティックカンパニーに、昨年入会した大木美和子氏（23 期）が 1 年間の感想を端的に述べた。最後に、ところざわ倶楽部のセールスポイントであるホームページの紹介を玉上佳彦氏が行った。



修了生（24 期）の評価は、ところざわ倶楽部が一番であり、その時の感想は、民話の会等の活動や新会員の感想の紹介が、「文字で紹介されるのではなく、直接肌で感じられたことが良かった」、との意見があった。

今回の説明会を受けて、多くの後輩がところざわ倶楽部に入会されることを望みます。

9 月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

9 月 11 日（月）開催

1. 会長挨拶

- 1) 市民大学 24 期生への O B 3 団体説明会の報告
9/5 生涯学習推進センターで開催された
昨年同様、倶楽部を紹介し、民話・北欧・23 期会員が話し、最後は玉上氏の HP 紹介
10/24 市民大学閉講式後、パネル展示と入会申込
- 2) 理事の新旧交代
10 月理事会で報告、新旧引継ぎは 11 月理事会
- 3) 「ハーメルン」の進捗報告
チケットは完売、皆さまに感謝を申し上げる
9/10、9/16、当日、リハーサル 3 回で本番に臨む

2. 総務部案件

- 1) 10 周年記念誌の報告
校正は順調、新たに特別会員へ原稿依頼など

11/21 定期総会で配布

ところざわ倶楽部のロゴ決定、HP など広報で使用

2) 総会準備作業の報告

総会用「サークル活動報告」は代表者に依頼
10 月理事会で定期総会案内はがき作成を報告

3. 事業部案件

- 1) 10 期事業部のまとめ
1/27「新春の集い」45 名、5/29 シンポジウム 204 名
6・7 月文芸講座 181 名、7/28 サークル発表会 123 名

4. 広報部案件

- 1) 「広場」9 月号は 9/8 発行
- 2) 「広場」10 月号編成案、特別会員は安藤先生
- 3) HP 関係、動画の投稿を歓迎
- 4) 編集用パソコンの購入を依頼

次回理事会 10/10(火)午前 10 時 新所沢東公民館

サークル活動報告

散策する度に新しい発見がある

歴史散策クラブ 内田滋男

当クラブでは仲間とともに新たな発見に感動したり、納得したりしながら歴史を学んでいます。史跡、花、水をサブテーマに3班に分かれて計画し散策していますが、9月の例会は寅さんの故郷葛飾柴又を訪れ名刹「帝釈天」「寅さん記念館」を見学後、都内唯一の渡し船「矢切の渡し」で江戸川を渡り、伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台の“野菊のこみち”を散策、というコースでした。



葛飾柴又 帝釈天

柴又駅前の寅さんとさくらさんの銅像に挨拶をした後、帝釈天の参道では「男はつらいよ」の映画撮影

に使われた店を両側に眺めながらその内の一軒で

名物の草団子を食べ舌鼓を打ちました。

帝釈天では帝釈堂入口横の樹齢460年の「瑞龍の松」に感心し、帝釈堂内殿外部の彫刻ギャラリーの見事さには思わず見入ってしまいました。

“野菊のこみち”では幼少時に遊んだような原っぱが目の前に現れ、バッタにも対面して半世紀前の気分を暫し堪能しながらの散策となりました。

今回の散策での新しい発見は、駅前でボランティアの方が資料を配り説明をしていたこと、草団子を食べた店ではメニューにないものも提供してくれたこと、彫刻ギャラリーは保護のためにガラス張りになったこと、矢切の渡しは時刻表もなく一旦上流のほうに漕ぎ出し放物線を描いて対岸に着くこと、“野菊のこみち”では野菊が全くなかったこと、等々がありました。

同じ所をまた訪れても年月、季節、同行者、視点、等が違えば新しい発見が沢山あります。やはり散策は楽しいものです。

サークル活動報告

脱・認知症

脳活サークル 本橋清子

「認知症にはなりたくない」と、強く思う。なってしまうと現在の医療で完治する事は困難で複雑なのです。一筋縄ではいかない。しかし、予防法は多々ある。其の等々を察し、日常生活に習慣化すればかなりの効果は得られると信じた。当会は多々ある予防法を察知、学び、伝授、実行、各自へ促す。その先への移行をも願う。この三月、オイルタッチの実習を行う。

二ヶ月後、一会員からのメールが届く(ご紹介します)『母が点滴などの医療の援助を受けず施設で逝きました。その間、会に出席させて頂いて覚えたオイルタッチを毎日してやることができました。何も口に出来ず言葉も殆ど発せなくなった人との唯一のコミュニケーションでした。』

良いタイミングに良い事を教えて頂き、本当に有難うございました』心揺さぶる熱い意味ある(心髄)ものです。屈せず、ぶれず、結束力と願力でこそ得る。

九月、軽井沢バス旅へ

明治時代、カナダ人の宣教師・アレキサンダー・クロフト、ショーは軽井沢を魅了し別荘を建てた。後、

著名人等がこの地に都会の喧噪を離れリゾート地で寛ぎの時を過ごす。当バスは、あの宣教師が大正十年に建立した軽井沢高原教会を探り、岩間から地下水が糸のように流れでる白糸の滝へ。高級なる別荘棟を垣間見、碓氷峠・熊野皇大神社にて倅ある老活をと祈願する。必死にもなる。若者で賑わう憧れの街・旧軽井沢銀座へ向う。「伝統あるカフェテラスでミルクティーを飲み、アップルパイを頬張りジョン・レノンを偲ぶ」と意図する回想法予防法は満客にて崩れた。バス旅は楽し！と至福なる空間となる。～避暑地・軽井沢は、お色直しの秋模様～



軽井沢 白糸の滝

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（池田新八郎 2940-0711）

10月13日(金)13:30～16:00 中央公民館
 古典講座「枕草子」第2回 講師：及川道之秋草学園教授
 11月10日(金)13:30～16:00 中央公民館
 古典講座「枕草子」第3回 ※関心のある方 ご参加下さい。

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

10月18日(水)13:30～ 中央公民館 8,9号室 定例会
 玉上会員による「最新中国事情(2017年)報告」
 11月15日(水) 定例会 内容時間は未定

3. 活いきシニア福祉の会(川上 紀春 090-5573-2548)

10月25日(水)10:00～
 グループホーム(ひだまり)見学・体験交流
 10月28日(土)・10月29日(日) 航空公園
 市民フェスティバル 地域福祉サポーター・ブース見学

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）

10月10日(火)13:15～ チャイコフスキー交響曲第5番、
 アニメ「ファンタジア」、次年度活動計画の検討
 11月14日(火)13:15～ ミュージカル「ウエストサイド物語」
 室内楽小品、次年度活動計画の検討
 いずれも 中央公民館 3階 8・9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会（吉田 麗 2939-9662）

11月7日(火)10:00～12:00 ふらっと
 「食品の農薬汚染と安全性について」
 講師 玉上佳彦氏
 関心をお持ちの方、是非ご参加下さい。

6. 地域の自然を考える会（海老澤愛之助 2922-0259）

10月24日(火)10:00～ 定例会 トロ12号地手入れ作業
 トロ財団の取得地の管理保全を定期的に行っています。
 環境保全に関心を持っている方の参加をお待ち致します。
 単発での参加でも結構です。

7. 地球環境に学ぶ（塚本 二郎 2942-3117）

10月17日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会
 ・各人の得た新情報、研究課題の発表などを、どう倶楽部内に
 に発信するかを協議します。・スーパーエコタウン見学会につ
 いてはHPをご覧ください。11月21日(火)定例会予定。

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

10月10日(火)13:15～15:00 中央公民館 定例会
 10月25日(水)13:30～16:00 所沢生涯学習推進センター
 1階102号室 第3回「シニア世代なんでも塾」
 テーマ「COOLJAPANFOREST 構想って知ってますか？」

9. 所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

10月11日(水)～13日(金) 長野りんご収穫ボランティア
 10月19日(木)13:00～ 新所沢公民館 定例会
 11月4日(土)、5日(日) 柳瀬公民館 文化祭出展
 11月9日(木) 13:00～ 新所沢公民館 定例会

10. 野老澤の歴史をたのしむ会（大山 豊 2993-0818）

10月5日(木)集合場所と時間 西武池袋線所沢駅 8:55 発
 飯能駅着 9:22 歴史講座「高麗一族と中世武蔵武士」
 10月19日(木) 鎌倉街道を歩く ゴール

11. ドラマティック・カンパニー（柳澤千賀子 2968-5035）

10月7日(土)10:00～12:00 中央公民館
 10月21日(土)10:00～12:00 中央公民館
 シェイクスピア後期の作品「シンベリン」を読み進めます

12. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

■10月10日(火)10:00～12:30 西新井町公民館
 洋画「さらば愛しの女(ひと)よ」(75年)ミッチャム
 ■10月24日(火)10:00～12:30 西新井町公民館
 邦画「秋日和」(60年)原節子・司葉子・佐分利信
 ＊「十三夜の宴」ススキと秋の収穫祭(昼の月見?)

13. 脳活サークル（加曾利厚雄 2939-2308）

10月27日(金) 定例会
 ≪秋の自然をたずねて：バードウォッチング≫
 集合・解散：西武狭山線下山口駅前—10:00～14:30
 持ち物：弁当、飲み物、歩きやすい服装

14. 北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

10月24日(火)14:00～16:00 頃 新所沢東公民館
 第80回例会 持ち寄り学習 DVD 観賞 他
 11月8日(水) 第81回 例会 スーパーエコタウン見学会
 （地球環境に学ぶと共催）

15. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）

10月16日(月)14:00～ 新所沢東公民館 学習会
 テーマ：「第2回会員フォーラム」意見交換会
 講師：阪口氏、河登氏、栗田氏、石堂氏など
 11月20日(月)学習会、「会派自由民主党との質疑応答」

16. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

10月19日(木) 14:00～ デイサービス「千恵の輪」お話し会
 10月20日(金) 10:00～13:00 福祉センター 定例会
 10月24日(火) 生涯学習推進センター 3階
 24期市民大学修了生へサークル勧誘

17. 歴史散策クラブ（大河原 功 2943-2004）

10月28日(土)9:00 所沢駅 2F 集合
 芝・高輪の遺跡を歩く
 11月11日(土) 集合時間・場所は別途1班から連絡
 御岳溪谷の紅葉

18. 広報部

10月5日(木)9:30～15:00 頃 生涯学習推進センター
 「広場」10月号、編集会議・発行日
 11月10日(金)9:30～15:00 頃 生涯学習推進センター
 「広場」11月号、編集会議・発行日



【私の健康法 第51回】

傍聴席 石堂 智士

いいテーマをもらったので、自分の人生をふりかえってみたい。

私は小学校時代、偏食のせいで、背丈が低く痩せていた。給食が終わった小学5年生の弁当に親は苦労したようだ。毎日、海苔と削り節をごはん一面に振りかけた弁当を食べて育った。そのせいか、中学時代に少し背が伸び平均近くになった。その上、野菜嫌いだっただけで、食事のあと、くだものを食べるようになった。背丈は平均位になったが、結婚するまではスマートだった。また運動は、高校時代まで遊び友達ができず、苦手だった。

就職して、東京にくる前に30歳で結婚した。すぐに子どもができ、仕事が面白くなったこともあり、夕食が遅くなった。その結果、少しずつ太りだした。仕事も、事務から営業に近い財務に変わったので、つき合いが増えた。40歳から人間ドックが始まったが、見事に20kg以上に体重が増えて肥満になった。50歳ですべての検査がB以下になり、EやDもあった。友達の勧めもあり、毎日、スポーツジムに通い、ストレッチと水泳に汗を流した。結果、1年で5重あごが痩せ、体重も20kg以上落ちた。周りは心配したが、健康になった。

定年後は、今までの経験を踏まえて、健康にすごすことを心がけた。仕事と通勤がなくなったので、自然科学の学習と図書館めぐりの自転車通いに励んだ。65歳になってからは、体の衰えを防ぐため、水泳1kmを週一度つけ加えた。ここ3年間は腹部肥満が解消し、100点満点になった。当分、この健康な状態を続けたいと思う。



むさし野俳句会（二十九年九月）新大久保吟行作品抄



街の名に江戸の名残りや秋祭
金風や神社の狐苔むして
子等はしやく八雲公園秋の蝶
秋の蝶日本語ぶ若き列
韓市場ひやかし巡る秋の昼
朝市の呼び声高き秋茄子
蝸の好きな疵なりとにも聴く
気がつけば身構へ歩く秋の昼
路地すべて歴史町名ちろ虫
大久保に異国の生計白むくげ

佐藤 八郎	秋天とどけとばかりクレン伸び	宮本 信生
白神 恵子	大久保はみな異邦人秋の風	荒幡千鶴子
高梨 千代	八雲像花に囲まれ秋あかね	飯泉 陽子
高橋三加子	書司二人の文学館や頼祭忌	海老澤愛之助
高光 泉	コリアン街変はり身早し秋の雲	粕谷のぼる
利根川啓一	托鉢の僧の錫杖秋の声	河瀬 俊彦
中嶋 弘子	爽やかに日本の異国歩きけり	小林 貞夫
中村 直子	管楽器光る大久保秋の風	小林 典子
橋本 佑子	秋祭り昨日に過ぎし空の色	鈴木 征子
平栗 彰子	屋の虫遠目差しのハーン像	鈴木 すぐる

《編集後記》

ハーメルンの公演が終わった。当日は、朝から45人の子役たちは最後の練習に励んだ。プロの広崎うらんさん(演出・振付/出演)の子どもたちへの指導はすばらしかった。「先生ではなく、ウーちゃん！と呼んで」と、子役たちをまとめていた。みんな所沢市在住の小学生、ねずみ役で舞台を動き回った。

私の手帳を見ると、今年1月から何回もハーメルンの実行委員会を開いている。チラシ、チケットの作成、販売、広報、子役の練習、当日の役割分担などを決めてきた。これらは毎号の「広場」やホームページでくわしく載せてきた。当初、「人は集まるだろうか」と心配もしていたが、7月末でチケットは完売するほどの状況になった。

「ハーメルンの笛吹きおとこ」は北ドイツの古いお話だ。出演した子どもたちは、なにを感じただろうか。子どもたちは、この日の出演を決して忘れないだろう。（当麻）

川柳④ 作品発表 中島峯生 選

課題「試験」

落ちたけど第二志望で今がある 面接で声の大きさを褒められる よくやった理化女子目指す第一歩 追試験邪念が沸いてまたやばい 試験管つい振り過ぎて追試験 これ試験つい確かめる悪い癖	「自由句」	待ち合わせ行くか戻るか忘れ物 カキ氷新機種で食べご満悦 一線を聞いてうなずく恐ろしさ 友達はいつもそつと寄り添って ゴミ捨てにスリ姿の若いパパ クロスワード脳を動かす道具箱	りんご好き 庵閑子 どうし 縄文人 突拍子 海さとり りんご好き 庵閑子 突拍子 海さとり どうし 方声
---	-------	---	---

次回の課題 「大きい」又「自由句」

10月20日締切り 担当 中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161

「広場」問合せ 海老澤愛之助 (04-2922-0259)